

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科

整形外科

【研究課題名】 関節リウマチ患者における頸椎・腰椎病変の罹患率および病変進行に関わる因子の検討- Analysis of Factors for RA Spinal Disorders (AFFORD)-

【研究期間】 倫理委員会承認後（2017年頃）～2027年3月31日

【研究の意義・目的】

関節リウマチの患者様には関節のみならず頸椎や腰椎などの脊椎（背骨）に関しても異常が生じやすいと言われております。前回2008年から2011年に当教室で行った研究の結果、関節リウマチで治療中の方の53%がレントゲンの異常がありMRIでは71%に異常があることが明らかになりました。画像的な異常は年齢のみならず関節リウマチの疾患活動性に関わっていることや腰痛や頸部痛などの症状に関連していることも明らかとなりました。しかし、関節リウマチの治療によって脊椎の異常の進行が抑えられるかどうかについては分かっていません。また近年関節リウマチの治療方法も変化してきており、脊椎異常が出現する割合もかなり変わってきていると考えられます。

この研究は関節リウマチの前回調査にご参加された方と2010年以降新たに関節リウマチと診断された方に協力をいただいてデータベースを作り、関節リウマチの脊椎異常の進行と関連する要因を分析して今後の関節リウマチ治療に役立てることを目的としています。

【研究の方法】

(1) 御協力いただく事：

腰椎・頸椎のMRI、レントゲン検査を行い、問診・脊椎外科専門医の診察により症状の程度を調査します。またあなたの診療情報（カルテなどにある検査結果など）を研究のために使わせて頂きます。

(2) 実施方法：この研究で新たに行う調査は以下の通りです。

○ レントゲン検査：全脊椎・頸椎・腰椎を2方向ずつの計6枚のレントゲンを大阪市立大学病院で撮影します。

○ MRI検査：頸椎・腰椎のMRIを満額会画像診断クリニックにおいて撮影します。撮影に要する時間は20分です。

○ 問診票による調査：頸・腰の痛みや日常生活障害度などについて問診票でお聞きします。

この他に診療録からリウマチの治療状況や内服薬を抽出し、研究に利用させていただきます。得られた成果は病気の予防や診断・治療の向上に役立てたいと考えております。もし、研究に使用されることを希望されない場合やご質問など御座いましたら、下記までお問い合わせください。

(3) あなたの個人情報厳重に管理します：

得られた情報には、あなたの性別、生年月日も含まれますが、カルテ番号、氏名、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は含まれません。情報の集計に際してはプライバシー保護のため、個人が特定できない情報に置き換えて対応し、結果を公表する場合も個人名が出ることはありません。

【研究組織】

大阪市立大学大学院医学研究科整形外科

研究代表者： 鈴木亨暢

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者： 鈴木亨暢

住所：545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

電話：06-6645-3851

Fax：06-6646-6260

E-mail：seikei@med.osaka-cu.ac.jp